ぐんまスタンダード
環境GSニュース
Gunma Standard
vol.43
2020年12月

気候変動適応レターの配信開始について

群馬県では､｢2050年に向けた『ぐんま５つのゼロ宣言』実現プラン｣に基づき､群馬県の内外における気候変動への適応に関する情報を収集・分析し､県民や事業者の皆様に分かりやすく発信するため､｢気候変動適応レター」の配信を2020年８月から開始しました。群馬県ホームページ､県公式ツイッター等により、配信を行っています。

現在公開している第１号は気候変動に関する総論について､第２号は熱中症について取り上げました｡今後も農林水産業､水環境・水資源､自然生態系､自然災害、健康、産業・経済活動、生活等からテーマを選び、本県の状況及び取組を盛り込んだ内容で発行を予定していますので、是非ご覧ください。

群馬県ホームページ：気候変動の影響に対する「適応策」について
https://www.pref.gunma.jp/04/cp01_00003.html

気候変動適応レター

第 1 号
2020年8月　群馬県気候変動対策課

はじめに

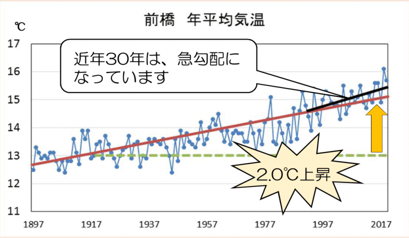
気温上昇などの気候変動は、様々な形で、私達の生活に深く影響しています。今後、定期的にその影響に対する「適応策」について、分かりやすく情報をお届けします。

地球は暑くなっている！！

世界の年平均気温は、変動を繰り返しながら上昇しており、このまま対策を講じなければ、今後も上昇することが予測されています。

日本の年平均気温も、世界と同様に上昇を続けており、100年当たり1.2℃の割合で上昇しています。

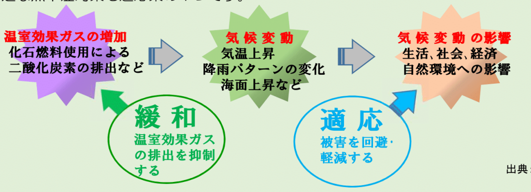
群馬県の年平均気温は、さらに高く、100年当たり2.0℃の割合で上昇しています。特に、最近３０年間は、気温の上昇傾向がより顕著に現れています。



出典：令和2年版環境白書（環境省）、気候変化レポート2018（気象庁）

気候変動対策 ～緩和策と適応策は車の両輪～

気候変動に対処するには、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を抑制する「緩和策」と、気候変動に起因する被害の回避・軽減等を図る「適応策」があります。適応とは、気候変動の影響に対して、自ら意識して対応を変えることであり、例えば、クールビズ・日傘の活用など身近な熱中症対策も適応策の１つです。



出典：環境省

群馬県における気候変動の影響

既に気候変動の影響が発生しています！！

りんごの日焼け果

強い日射･高温によって、果実に日焼けが発生し、品質が低下してしまう。

お米の白未熟粒

お米が発育する時期に、気温が高すぎて、白い未熟な粒が発生し、品質が低下してしまう。

写真提供：群馬県農業技術センター

台風による被害

2019年10月に発生した台風19号の影響により、増水した吾妻川が、国道144号(鳴岩橋)を寸断した。緊急迂回路ができるまで、約70日間通行止めとなった（嬬恋村）。

写真提供：上毛新聞社

群馬県における対策　～緩和策と適応策～

【緩和策】温室効果ガス排出の抑制

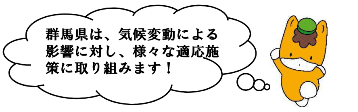
2050年に向けた「ぐんま５つのゼロ宣言」実現プランに基づき、「省エネ対策の推進」、　「再生可能エネルギーの導入促進」の２本柱で取り組みます。

【適応策】気候変動による影響の軽減

県土の強靱化とともに、県民の防災意識を高め、自然災害による死者をゼロにすることを目指します。また、農業や健康など、７つの分野について気候変動の影響を軽減させる適応策に取り組みます。例えば、農業では、高温耐性の品種開発などを進めます。

出典：環境省

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
13 気候変動に具体的な対策を



群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」

次号の予定

次回以降、各分野における適応策を発信します

健康分野における気候変動の影響として、熱中症の問題を取り上げます。

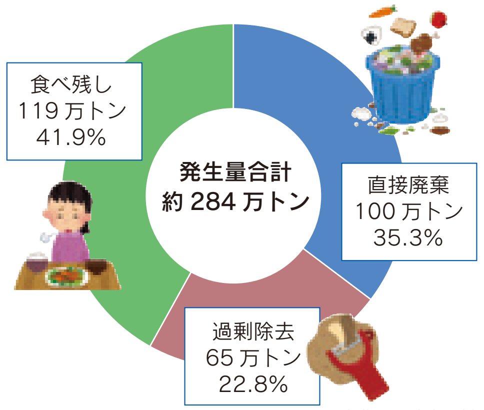
広　告

※広告内容については、直接広告スポンサーへお問い合わせください。
※広告掲載を希望する方は、県庁気候変動対策課（TEL:027-226-2817）へお問い合わせください。

家計にも環境にもやさしい「食品ロスの削減」

「食品ロス」の発生量の約半分は皆さんの家庭から!?

家庭系食品ロスの内訳（平成29年度）



出典：環境省資料

国内では、まだ食べられるにも関わらず、捨てられてしまう食品である「食品ロス」が約612万トン発生しています（平成29年度環境省推計値）。

特に家庭からは、①食べ残し、②直接廃棄（未開封の食品を食べずに捨てる）、③過剰除去（野菜の皮を厚くむき過ぎるなど、可食部が捨てられている）などを主な原因として、約284万トンの食品ロス（国内の食品ロス発生量の約半分）が発生しています。

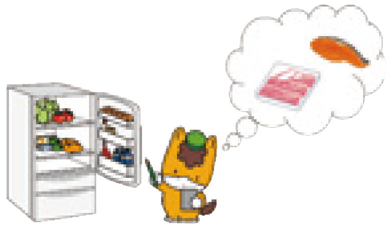
食品ロスに対する皆さんのイメージは、２月の節分の時期にスーパー・コンビニなどで売れ残った「恵方巻き」の大量廃棄かもしれませんが、実は、食品小売業から発生する食品ロスは全体の10%程度（約64万トン）であり、皆さんが普段何気なく行っている買い物・調理・食事など、家庭の各シーンから発生する食品ロスの方が多いのです。

「食品ロス≒家計ロス！？」買い物･調理方法など普段の行動から見直してみましょう！

食べ物を作る時にも買う時にもお金を使っていますから、食品ロスを減らすと、ムダなお金を減らせます。

12月はクリスマス、年末年始の準備など、普段よりも買い物の頻度、調理の機会が増える時期となります。何かと出費もかさみますが、以下のとおり、普段の行動を見直し、家庭から出る食品ロスを減らすことは、家計にも環境にもやさしい行動につながります。

見直しのポイント



計画

買い物に行く前に、事前に家にある食材をチェックする。
- 事前に冷蔵庫内などをチェックし、買い物リストを作成する。
  （メモ書きや携帯・スマホで冷蔵庫内を撮影することも有効です）

買い物

必要な分だけ買う。すぐに食べる食品は「てまえどり」を行う。
- 無駄なく使いきれる分だけ買う。（少量パック、ばら売りなど活用）
- すぐ食べる食品は、賞味期限や消費期限の長い商品ではなく陳列順に購入する（てまえどり）。

保存

食材を上手に保存する。
- 食べきれなかった食品は、冷凍など傷みにくい方法で保存する。
- 使い忘れの食品をなくすため、冷蔵庫内の配置場所を決め、保管ルールを設ける。

もうムダにしない！食材の便利帳（鎌倉市）

調理

食材の使いきり、適切な量を作る。
- 残っている食材から使う。
- 食材を無駄なく、使い切る。
- 食べきれる量だけ作る。
  ※それでも余った食材があれば、
  アイデアレシピを活用し、別の料理に作りかえましょう♪

使いきり・食べきりレシピ（コープぐんま）

消費者庁のキッチン（クックパッド）

食事

料理を残さず、おいしく食べきる。
- 作ってくれた人に感謝して、「MOTTAINAI」（もったいない）の心で、
  おいしく料理を食べきる。

家庭から出る「食品ロス」をなくし、家計にも環境にもやさしい行動を実践しましょう！

2050年に向けた「ぐんま５つのゼロ宣言」

宣言1	自然災害による死者	「ゼロ」
宣言2	温室効果ガス排出量	「ゼロ」
宣言3	災害時の停電	「ゼロ」
宣言4	プラスチックごみ	「ゼロ」
宣言5	**食品ロス**	**「ゼロ」**

2050年には、食品ロスを「ゼロ」に！

群馬県は、気候変動の影響による自然災害などの諸課題を、2050年までに解決し、災害に強く、持続可能な社会を構築するとともに、県民の幸福度を向上させるため、2019年12月に「2050年に向けた『ぐんま５つのゼロ』」を宣言しました。

その宣言５として、食品ロス「ゼロ」を掲げ、2050年までに「MOTTAINAI」（もったいない）の心で食品ロスをなくすことを目指しています。

「もったいない」を「ありがとう」につなげる フードバンク活動にご協力をお願いします。

フードドライブにご協力ください。皆さんの家庭で余っている食品はありませんか？

家庭等で余っている食品を職場や地域などで持ち寄り、それらをまとめてフードバンクや福祉施設等に提供する活動をフードドライブといいます。

近年、このフードドライブの活動が県内各地に広がっており、群馬県庁でも令和２年10月に職員を対象にフードドライブを実施し、県内のフードバンクに食品提供を行いました。

群馬県職員によるフードドライブで集まった食品

企業等から寄付された食品を集め、福祉施設や生活困窮者の支援団体等に食品提供を行う活動を行う団体をフードバンクといいますが、県内でも、下の表のとおり、複数の団体が活動を行っています。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業によって、明日食べるものにも困っている方が増加傾向にあり、例年以上にフードバンクに食料支援を求める方が増えています。

群馬県では､「2050年に向けた『ぐんま５つのゼロ宣言』」の宣言５ 食品ロス「ゼロ」の達成に向け取り組んでおり、この取組の一環として、未利用食品の有効活用を図る観点から、フードバンク活動を応援し、支援の輪を広げていきたいと考えております。

フードドライブ等を通じて、県内におけるフードバンク活動の支援拡大にご協力をお願いします。

◎フードドライブにより回収する食品の例

賞味期限が２か月以上残っており、常温保存可能で未開封のもの

- 米、餅、菓子類、防災備蓄食品
- レトルト食品（カレー、中華の素、ソース等）
- インスタント食品（ラーメン、スープ、味噌汁等）
- 乾物（そば、そうめん、パスタ、乾燥わかめ等）
- 調味料（砂糖、塩、ケチャップ、マヨネーズ等）

※食品寄付を検討される際は、事前に必ず、寄付先との連絡調整を行ってください。

群馬県内の主なフードバンク活動団体

No.	名称	市町村	郵便番号	住所	電話	FAX
1	フードバンクまえばし	前橋市	371-0026	前橋市大手町2-18-7	027-226-1591	027-226-1592
2	中央ライフ・サポートセンター（※）	前橋市	371-0007	前橋市上泉町1852-5	027-269-2501	027-269-2593
3	フードバンクM・高崎	高崎市	370-1301	高崎市新町333	0274-42-0111	0274-42-7609
4	フードバンク桐生	桐生市	376-8501	桐生市織姫町1-1	0277-46-1111	0277-45-2940
5	フードバンクおおた	太田市	373-0025	太田市熊野町2-8	0276-25-0611	0276-55-6260
6	利根沼田地域ボランティアセンター（ごったく広場）	沼田市	378-0044	沼田市下之町892-8	0278-22-1760	0278-22-1760
7	フードバンク北関東	館林市	374-0074	館林市高根町109	0276-52-8188	0276-49-6915
8	フードバンクしぶかわ	渋川市	377-0008	渋川市渋川1830-40 坂東屋ビル1階B	0279-26-2873	0279-26-2874

※中央ライフ・サポートセンターは食品提供側と受取側とのマッチングを行っているため、直接、食品の持ち込みはできません。

GS事業者の横顔

株式会社西建

認定番号　313329
住　　所　前橋市上長磯町310-1
電話番号　027-212-8890
従業員数　58名
事業内容　建具・家具製造　各種工事業
代 表 者　代表取締役　平形　敦史
ＧＳマネージャー　樋口　亨
ＧＳサブマネージャー　竹内　郁雅

わが社の一押し

当社は、昭和23年に「木製建具店」として創業して以来、木製建具・特注家具の製造販売及び土木外構工事を中心に大手住宅メーカー・地元ゼネコンや地域の皆様に支えられながら成長してまいりました。今後も、これまでにお世話になったお客様を大切にしながら、長年培ってきた実績と信頼を積み上げるべく、お客様満足度の向上を第一に考えながら、社員一同「笑顔」でベストなサービスの提供に努めてまいります。

現場からひとこと

昨年、環境GS認定を取得しました。
以前からコピー用紙の裏紙活用は進めていましたが、より改善するためにペーパーレス化の推進、LED照明の導入、井戸水を利用した工場屋根へのスプリンクラー散水など環境整備を進めています。今後も工場から排出される端材の再利用、エコドライブの推進等、環境に配慮した取り組みを続けていきたいと思います。

株式会社大西ライト工業所

認定番号　242246
住　　所　伊勢崎市香林町2丁目1284
電話番号　0270-20-2111
従業員数　65名
事業内容　プラスチック成形メーカー
代 表 者　代表取締役　大西　健太郎
ＧＳマネージャー　富澤　均

わが社の一押し

ベークライトからエンジニアリングプラスチックへ合成樹脂の歴史と共に合成樹脂が誕生して100年、その4分の3近くを専業メーカーとして歩んできた当社は、エンジニアリングプラスチックの隆盛とともに精密成形の分野をリードして参りました。今日では、培ったノウハウをもとに高い信頼性を発揮し、自動車部品や情報通信機器、産業機械部品や医療機器など、幅広い分野でお客様のご要望に応える成形品を供給しています。

現場からひとこと

当社においても、環境省が策定し普及を進めている「エコアクション21」を認証取得し、CO_2の排出や廃棄物、水使用量等の削減における数値目標を設定。その実現に向け省エネタイプの空調設備に入れ替えたり、照明もLEDに変更、廃棄物の分別や再利用をしたりして、社員一同、積極的に環境活動に取り組んでいます。

雪印ビーンスターク株式会社群馬工場

認定番号　313332
住　　所　邑楽郡大泉町吉田1201
電話番号　0276-63-1211
従業員数　150名
事業内容　育児用及び機能性商品の製造
代 表 者　工場長　坂上　卓穂
ＧＳマネージャー　圓野　友久
ＧＳサブマネージャー　初鹿　宏樹

わが社の一押し

私たちは、赤ちゃんやお母さんをはじめ、ご家族の健康といきいきした暮らしをサポートする会社です。私たちが一番大切にしてきたことは、母乳に学び、母乳研究の成果を生かすことです。大切な命を育む母乳には、赤ちゃんの成長を支え、病気から守る働きがあることが知られていますが、まだまだ解明されていないことが沢山あると考えています。赤ちゃんの健やかな成長のため、そしてご家族の育児をお手伝いするために、約60年にわたる母乳研究を生かした商品を開発し続けます。

現場からひとこと

建物の老朽化が進んでおりますが、燃料のガス化転換、駆動ベルトや電動機の省エネ化、照明のLED化など、少しずつですがCO_2排出量削減に向けた取り組みを進めております。GS事業者になりましたことで心機一転し、地球に優しい生産活動の追及を推し進めて参ります。

株式会社セイコーレジン

認定番号　200684
住　　所　伊勢崎市境下武士661
電話番号　0270-74-3311
従業員数　74名
事業内容　プラスチック射出成形・組立
代 表 者　代表取締役　天田　誉哉
ＧＳマネージャー　齋藤　茂
ＧＳサブマネージャー　和佐田　直明

わが社の一押し

セイコーグループは、デザイン・製品設計・試作・金型製作・成形・塗装を含む２次加工・組立といったプラスチック製品の一貫生産を行い、開発から量産までのリードタイム削減を行い高品質な製品をお客様に提供しています。
「現場力を高め、得意先に選ばれる企業を目指す」を基本方針とし、気づき・考えて・自ら行動することが大事だと考えます。
創立100年に向けて、これからも、この地元で夢のあるモノづくり企業でありたいと思います。

現場からひとこと

環境GS認定後13年目となりました。
弊社は、工場内の環境整備として、変電設備の更新（低濃度PCB撤去）・照明のLED化・成形機の油圧式から電動式・フォークリフトのエンジンから電動式、などの消費電力削減とCO_2削減に取り組んでいます。また、工場及び事務棟のエアコン設備も整い、人と機械に優しい環境で安定した生産が可能になりました。今後も常に環境を意識して「モノづくり」を進めていきたいと思います。

大光電設株式会社

認定番号　231852
住　　所　館林市日向町1019-4
電話番号　0276-72-0973
従業員数　10名
事業内容　電気工事業
代 表 者　代表取締役　持田　弘一
ＧＳマネージャー　持田　弘一
ＧＳサブマネージャー　野村　久美子
ＧＳサブマネージャー　持田　美穂

わが社の一押し

昭和43年館林の地に創業した弊社は、地域に根差した電気工事業者として地元の皆様に支えられ、今年で52年を迎えました。以来、公共工事をはじめ民間工事、個人住宅等幅広いお客様のニーズにお応えしております。また、2005年にはISO9001を認証取得し、品質・技術・サービスの向上に努めてまいりました。
これからも社員一同一致団結し、｢確かな品質・確かな技術｣ を合言葉に、電気工事を通して地域社会に貢献し、更なる成長を目指します。

現場からひとこと

環境GS認定を取得し、早10年が経ちました。省エネ活動・廃棄物の減量化・リサイクル・エコドライブ等、社員一同日々エコ活動に取り組んでいます。
今年は新型コロナウイルスの影響で、人の移動や生活様式に数々の制限が設けられ、慣れない環境に戸惑うことも多々ありました。依然不透明さは残りますが、今後も常に周囲を見渡し、環境や健康に配慮しながら積極的にGS活動に取り組んで行きます。

金子林産有限会社

認定番号　221315
住　　所　桐生市黒保根町水沼189
電話番号　0277-96-2706
従業員数　12名
事業内容　オガ粉製造・木製品製造
　　　　　素材生産
代 表 者　代表取締役　金子　敬
ＧＳマネージャー　金子　栄樹
ＧＳサブマネージャー　金子　真樹

わが社の一押し

弊社は、オガ粉や丸太の販売、および木製品の製造を行っている、創立72年となる木材業者です。
「木材伐採→搬出→運搬→製造→運搬」といった、一貫体制の仕組みを構築できたことが強みです。また、近年は、主に「菌床きのこ用のオガ粉製造・販売」に力を入れて、『安心・安全、そして信頼』をモットーに、お客様の必要とするオガ粉を「オーダーメイド」で提供しております。さらに、木材の端材の破棄がなくなるよう、無駄のない製品化に成功しました。
今後も、お客様との信頼を大切にし、自然環境についても考え、日々邁進してまいります。

現場からひとこと

環境GS認定を取得し、11年目を迎えました。
当初より､｢利用機械の節電と省エネ化｣、および「エコドライブと燃料費削減」を目標に掲げ、取り組んでおります。これからも一人一人が環境について考え、努めることにより、少しずつ積み重なった力で、より多くの環境保全に貢献していきたいと思います。

ワンポイントアドバイス ONE POINT ADVICE

環境GS推進員

今回は、
栃本 清実さん
からのアドバイスです。

『問題は、無関心』地球温暖化は進んでいます

地元区長を令和2年4月から2年間仰せ付かっています。「私が掲げる行政懇談会テーマ」5項目のうち、今年度は「地域の安心・安全」の確保を第一に掲げていましたが、コロナ禍で生活環境・経済環境が一変してしまいました。

―行政に係わる会議や各種行事が殆ど「中止」になっています―

2020年はあらゆる分野で変革の時期を迎えているのかなと思われます。「因果応報」という言葉が適切か分かりませんが、知らず知らずのうちにわがまま放置で自然環境の破壊や社会・経済・自然環境・人間関係などの崩壊を招いているものと感慨深い思いをしているところです。

〔個別項目〕
1.「環境問題」: 地球温暖化の影響を受け、国内の水災害は年々大規模化し猛威を振るっています。
2.「安心・安全」: 差別・利己主義・無関心・・・
3.「モラル意識の欠如」: ゴミステーション利用状況→分類・分別・不法投棄のモラル意識の欠如

板倉町令和元年度ゴミステーション資源ごみ収集状況

(町全体受入量 : 家庭系のみ)　(単位 : トン)

	可燃	かん	びん	危険物	古紙類	プラスチック	小型家電	ペットボトル	容器プラ	合計
R1 年度合計	2,125.28	49.99	104.65	62.72	167.99	1.85	6.92	33.51	82.39	2,635.30
H30 年度合計	2,053.50	49.82	112.64	61.91	116.01	2.56	5.52	21.49	77.43	2,500.88
対前年増減	71.78	0.17	▲7.99	0.81	51.98	▲0.71	1.40	12.02	4.96	134.42

【板倉町住民環境課 : 資料】より

本業は、経営コンサル事業を営んでおりますが、取引先のニーズ・シーズに対応すべくあらゆる提案を行っています。「環境・エネルギー」の対処 : フロン排出抑制法　2015年4月スタート及び改正法　2020年4月スタート（R22問題）を踏まえて、あらゆる知識と総合的な管理・判断を仰ぎ「顧客満足」を得て取引先のインフラ整備を完了させてきました。

◆顧客の要求・満足を提供できる
①取引先の「産業用太陽光発電」の管理　②倉庫の照明 : 水銀灯⇒LEDの交換時期等　③冷媒ガスR22・節電対策・その他

◆合法化対策（インフラ整備）
①業務用エアコンは法定検査とフロン廃棄の行程管理が厳格化されました。
②市場に30%残っている冷媒ガスR22（フロン含有）機器は、修理部品無＝更新のみで、修理は10万円前後ですが、更新は100万円前後です。
③照明
・国内主要メーカーでは蛍光灯器具は2019年3月製造終了（蛍光ランプは製造継続）
・水銀灯は2020年末製造・輸出入禁止
※2021年水銀に関する水俣条約施行＝水銀を海外へ捨てられない⇒産廃費高騰
※旧型エアコン・照明の更新は待ったなし＝必須です。
※コロナ不景気で現金使えず・予算がつかない会社が多く、月々定額払い（リース・レンタル）利用客が60%超えました。また、老人介護施設・特別養護老人ホーム・医療機関をターゲットとした見守りセンサーも販売開始。
〔※情報提供 : ジャパン開発㈱代表取締役砂賀輝之〕

ここで重要なことは、何事にも関心を持って「課題を明確化し」「分析して」「判断する」ことです。問題解決には色々な手法（メソッド）がありますが、①観分判シート（※1様式）　②ムダ排除のシート　③PDCAサイクル・シートの活用と「色々な事柄に関心を持って」を繰り返し実行し続けることを推奨しています。

観察シート
宛　名 :　　2020年　月　日　　職　位　　氏　名

テーマ :		
観　察 （何が問題なのか）	分　析 （その原因は何か）	判　断 （具体的な改善案 : どうしたら良いか）

（※ 1 様式 : 観分判シート）

◆環境問題及び省エネ対策の視点

地球温暖化の問題は人為的行為の反動で、地球が悲鳴を上げて猛威（風水害・地震・森林火災・凍土・ウィルス等）を振るっています。「個人的」に行っていることは、①太陽光発電　②温水器　③ガス　④電気　⑤発電機などを利用した「ハイブリッド方式」を取っています。万が一のインフラ対策（リスク分散化）も併せて考えています。

個々が「地球温暖化」に関心を持って・分析して・判断して・今出来ることを真剣に取組まなければならないテーマではないでしょうか？「地球が啼いています」

補助金を使って設備更新・導入を～補助金の活用方法～その 25

はじめに

「補助金を使って設備更新・導入を～補助金の活用方法～その25」をお届けします。今回は、９月末に公表されました「令和３年度概算要求」を中心にお知らせいたします。尚、概算要求に基づく情報は、国会審議を経た上で正式決定されるため、本記載内容から変更が生じる可能性がある旨をご了承ください。各詳細は、公表後に補助金事務局または執行団体HPよりご確認ください。

■令和３年度予算での主な補助金（概算要求）

事業名称	内容
先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金	工場・事業場において実施されるエネルギー消費効率の高い設備への更新等を支援。対象設備を限定しない「工場・事業場単位」、申請手続が簡易な「設備単位」での支援を行う。また、先進的な省エネ技術・設備 (電化等のエネルギー転換に資する革新的省エネ技術等) を導入する投資を重点的に支援する。 補助率 : 1／４～2／３　(申請区分等により異なる)
中小企業生産性革命推進事業による事業再開支援	事業承継・事業再編を契機に、経営革新等に挑戦する中小企業に、設備投資や販路拡大の支援を行う。(経営者交代型・M&A 型) また、承継時に係る士業専門家の活用費用を補助する。 ※上記補助上限の他、廃業を伴う場合には上乗せ措置あり。
ものづくり・商業・サービス高度連携促進事業費	「ものづくり補助金」によって複数の事業者が連携する、波及効果の大きい取組を重点的に支援する。

中小企業生産性革命推進事業による事業再開支援

区分・枠組		補助上限額	補助率
経営者交代型	原則枠	225 万円	1/2
	ベンチャー型・生産性向上枠	300 万円	2/3
M&A 型	原則枠	450 万円	1/2
	ベンチャー型・生産性向上枠	600 万円	2/3
専門家活用型	売り手支援、買い手支援枠	200 万円	2/3

ものづくり・商業・サービス高度連携促進事業費

区分	補助上限額	補助率
企業間連携型	2,000 万円 / 者	中小 1/2、小規模 2/3
サプライチェーン効率化型	1,000 万円 / 者	中小 1/2、小規模 2/3
小規模事業ビジネスモデル構築型	1 億円 (750 万円 / 者)	2/3

■まだ間に合う今年度の補助金

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金	革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を補助。(補助上限 1,000 万円／補助率 1/2 ～) **第５次受付分の締切は、2021 年２月を予定。**
小規模事業者持続化補助金	小規模事業者が経営計画を作成し、作成した経営計画に基づいて行う販路開拓の取組等の経費の一部を補助。(補助上限 50 万円／補助率 2/3) **第４回受付分の締切は、2021 年２月５日を予定。**

補助金の相談窓口

補助金の相談は群馬県地球温暖化防止活動推進センター（TEL 027-289-5944）まで。事例に精通したGS推進員を派遣しますので、お気軽にご相談ください。また下記サイトでは最新の補助金情報を掲載していますので、参考にしてください。

「ミラサポplus」https://mirasapo-plus.go.jp/

文責 : 環境GS推進員　関 誠

GSインフォメーション

群馬県からの お知らせ

群馬県では、中小事業者の皆様の省エネルギーをより一層推進するために、制度融資を用意しております。低公害車等の導入、自社設備の更新・新設をご検討されている事業者の方は是非ご利用ください。

低公害車導入整備資金

対象：県内に工場若しくは事業所等を有する中小事業者で県税を完納している者のうち、自己資金によっては資金の調達が困難な者
※低公害車を導入する場合、対象は環境GS認定事業者に限ります

資金使途
① 低公害車（電気自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車、燃料電池自動車）の導入
② 低公害車用燃料供給施設の導入

融資利率：

保証なし		年1.7%以内
保証付き	責任共有制度対象外	年1.3%以内
	責任共有制度対象	年1.4%以内

環境ＧＳ企業エコ改修資金

対象：環境GS認定事業者として認定を受けている中小事業者で県税を完納している者のうち、自己資金によっては資金の調達が困難な者

資金使途
① 省エネ率10%以上の改修工事
② 自己資金調達型ESCO事業
③ 中小企業信用保険法施行規則第９条に定める「エネルギーの使用の合理化に資する施設」に該当する120施設等の設置
④ 高効率照明への改修工事（LED、Hf、センサー照明等）
⑤ 新エネルギー設備の設置または改修工事
（自社でエネルギー消費ができる設備が対象となり、売電等を目的とした設備は対象となりません）

融資利率：

保証なし		年1.7%以内
保証付き	責任共有制度対象外	年1.3%以内
	責任共有制度対象	年1.4%以内

編集・発行
群馬県気候変動対策課　〒371-8570　前橋市大手町1-1-1
TEL：027-226-2817　FAX：027-223-0154
群馬県地球温暖化防止活動推進センター　〒371-0854　前橋市大渡町1-10-7
TEL：027-289-5944　FAX：027-289-5945

VEGETABLE OIL INK